

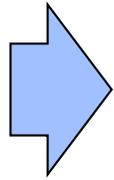
小さな経済で心豊かに生きる

長年グローバルコンサルティング会社で
働いた末に行き着いた確かな生き方

2018年10月

一般社団法人Women Help Women 代表理事
(www.womenhelpwomen.org)
オフィス・フロネシス 代表

西田 治子



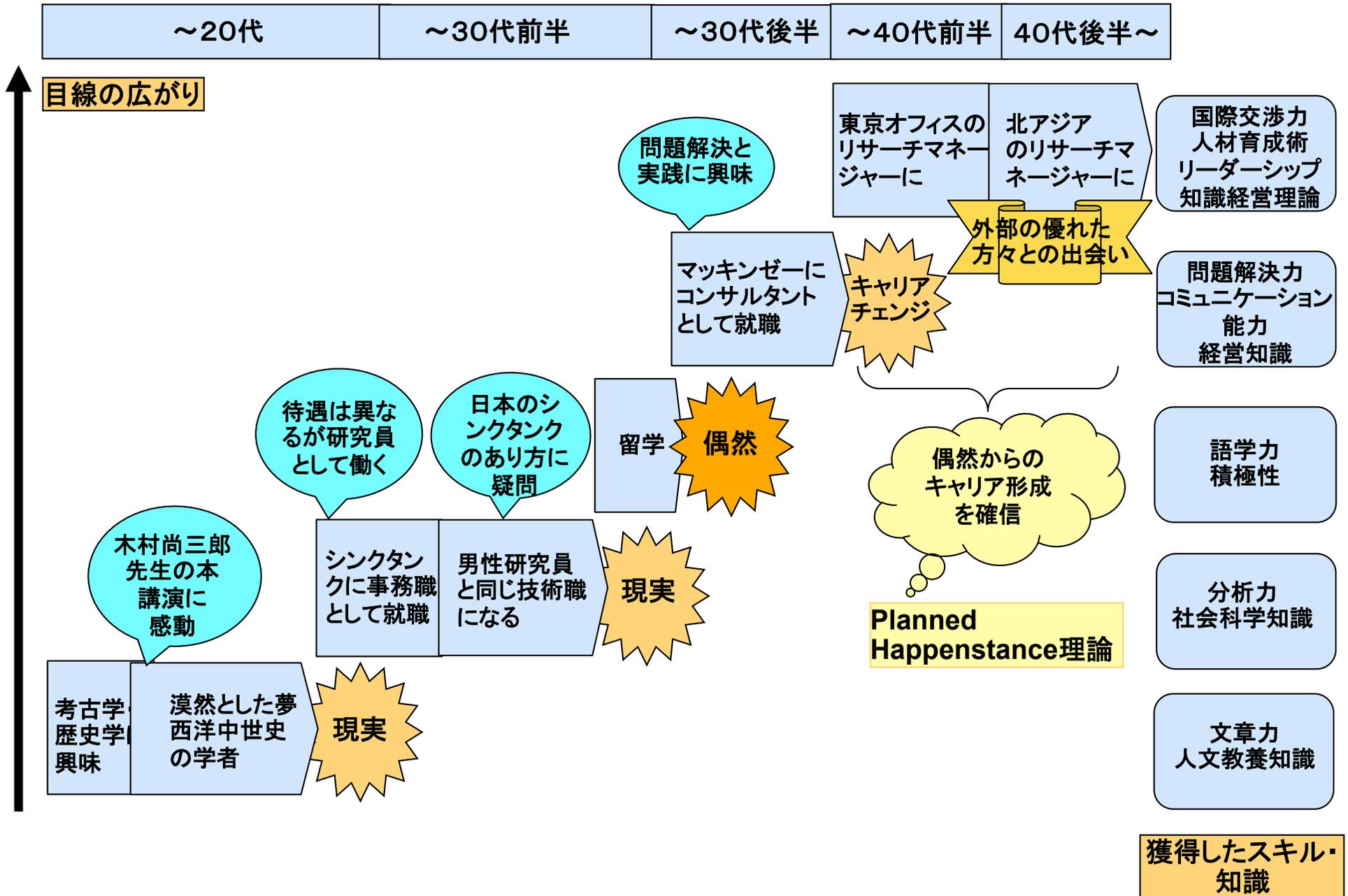
I. 私のだった道

II. 共通善—善く生きる

**III. 小さな経済(シビックエコノミー)
と地域のか**

自分が学生の時には、海外で働く姿は想像もしなかった

私のたどった道 (2010年まで) 1/2



Planned Happenstance

Planned: having arranged the parts
Happen: to occur by chance
Stance: a view or attitude

Four Step Process

1. Clarify Ideas

Follow your curiosity and identify your interests.

2. Remove The Blocks

Wonder "how I can" rather than "I can't because...".

3. Expect The Unexpected

Be prepared for chance opportunities, such as unexpected phone calls, chance encounters, impromptu conversations and new experiences.

4. Take Action

Learn, develop skills, remain open and follow-up on chance events.



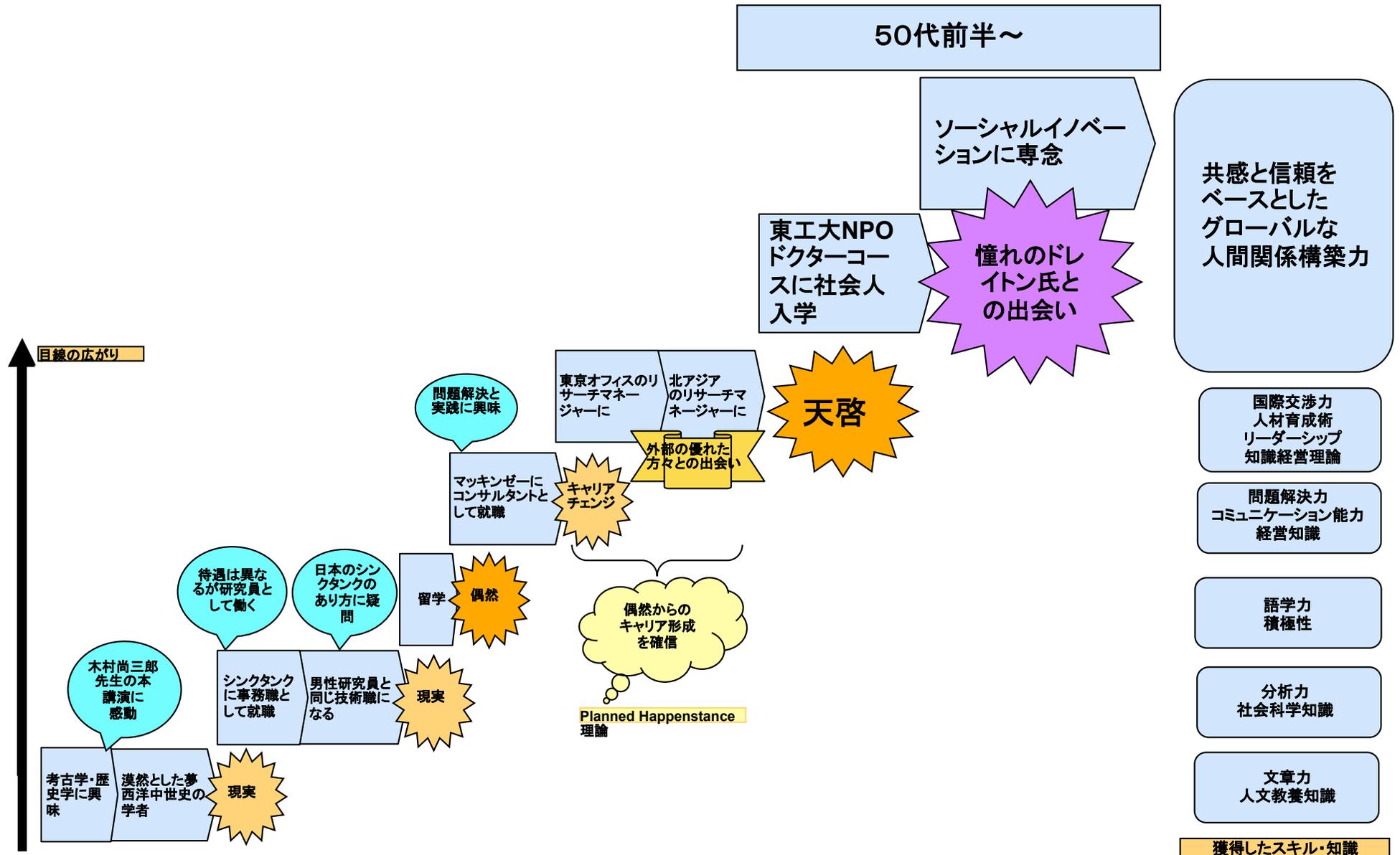
FIVE SKILLS TO RECOGNIZE, CREATE, AND USE CHANCE AS CAREER OPPORTUNITIES

- ◆ CURIOSITY: exploring new learning opportunities
- ◆ PERSISTENCE: exerting effort despite setbacks
- ◆ FLEXIBILITY: changing attitudes and circumstances
- ◆ OPTIMISM: viewing new opportunities as possible and attainable
- ◆ RISK TAKING: taking action in the face of uncertain outcomes

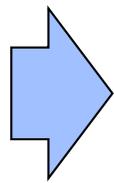


さらなるキャリアチェンジ。。。。

私のたどった道 2/2



I. 私のたどった道



II. 共通善—善く生きる

**III. 小さな経済（シビックエコノミー）
と地域のか**



共通善

善く生きる

実践知

私の「善く生きる」の解釈

現在よりも、より善い社会とは？

それを望む自分がその実現のために
実践し続けること→生き方



ビル・ドレイトン

社会起業
(Social Entrepreneurship)の父

“Every one is a change maker”

あらためて、自分の使命を確信

3月11日 東北大震災

- オープンソーシャルイノベーション
東北被災地復興には、衆知を集める必要⇒グローバルな助け、
智慧の活用



Women Help Women

身近な手仕事を通じて女性同士が助け合うことにより、新しい経済的価値を創造し、よりよい社会作りに貢献できるような仕組みづくり

女性が仕事を通じて、生活の糧を得るのみならずやりがいや生きがい、誇りを感じる。被災地女性の手仕事商品を購入した消費者の方が、自分にとって価値のあるものを購入したという喜びや、意味のある消費をしたという満足感を得ること。

ひとつの仕事が、こうしたすべての価値創造につながっていることも示す



Women Help Women



あい基金

～女性の生業の場づくり・地域づくりを応援～
女性が自らの意志で人生を選択できる社会をつくることを目指し、「あい基金」の設立を支援。
東日本大震災の被災地において女性が中心となって取り組む、女性の生業の場づくりや地域づくりの活動を応援

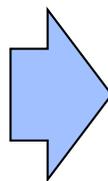


あい基金

女性が未来をつくる

I. 私のたどった道

II. 共通善—善く生きる

 **III. 小さな経済（シビックエコノミー）
と地域のか**

古い経済 対 新しい経済





E.F.シューマツハー

“Small is Beautiful”

私は技術の発展に新しい方向を与え、技術を人間の真の必要物に立ち返らせることができると信じている。それは、人間の背丈に合わせる方向でもある。人間は小さいものである。だからこそ、小さいことは素晴らしいのである。巨大さを追い求めるのは、自己破壊に通じる。

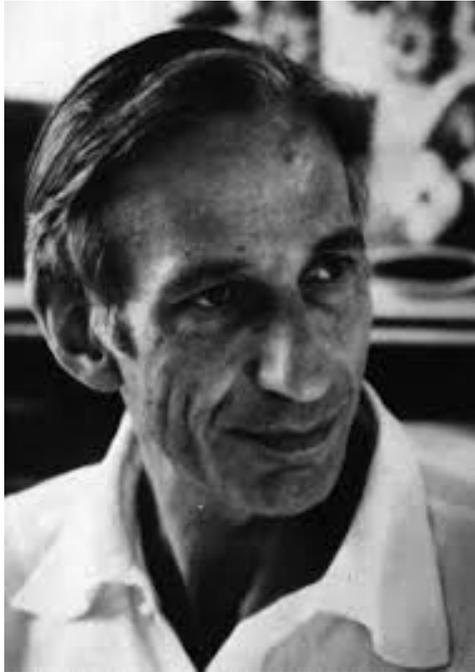
Appropriate Technology(適正技術)

科学・技術の方法や道具は"安くてほとんど誰でも手に入れられ"、"小さな規模で応用でき"、"人間の創造力を発揮させるような"ものでなくてはならない

ガンジー



世界の貧困は、大量生産 (mass-production) ではなく大衆による生産 (production by mass) によってのみ救われる



イヴァン・イリイチ

コンヴィヴィアリティのための道具

産業主義的な生産性の正反対を明示するのに、私は自律共生
＜コンヴィヴィアリティ＞という用語を選ぶ。……

人々は物を手に入れる必要があるだけではない。彼らはなによりも、暮らしを可能にしてくれるものを作り出す自由、それに自分の好みにしたがって形を与える自由、他人をかまったり世話したりするのにそれを用いる自由を必要とするのだ。

コミュニティ

By 米学者者マッキヴァー(R. M. MacIver)

- ①共同性
- ②地域性
- ③つながり性

→ 地縁？

縁

コモン・ウェルスの語源

キケロの「公共体は公衆の財産である」

→common-wealth(公衆の common + 財産 wealth)

(羅: res publica) (公共なるもの)と呼ばれた概念は、アリストテレスが『政治学』で主張した国家(ポリス 希: πόλις)の定義、「善なる目標を共有する団体」をラテン語に導入したもの

「共有された善なる目標」(共通善)こそが common-wealth という言葉の本質

コミュニティ・縁

小さな共有空間

「共有された善なる目標」(共通善)を
追求できる単位では？

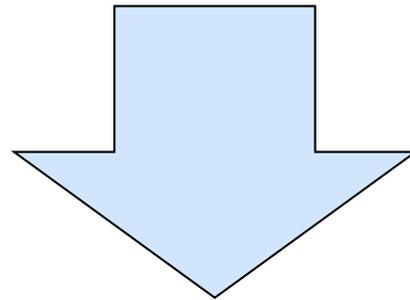
オープンソーシャルイノベーション

地縁から知縁へ

様々な知恵を共有して共通善を追求

ソーシャル・イノベーションとコミュニティ

地域性の中で、人々のつながりがいい意味で、連帯的に、共同体として働く、心地のよい生活環境を取り戻そうという考え



地域の成員が、身近なところで、ソーシャルイノベーションを起こすきっかけになる

- 福祉・エネルギー・農業→自分の身の回りでできること

身の丈の経済 シビック・エコノミー

小商い、手仕事→地域の小さな経済の活性化、
コミュニティでの共生

最新テクノロジーが可能にする分散型共有経済

- 地域エネルギー自給システム
- ブロックチェーンが担保する信頼をもとにした
交換のしくみー地域通貨・時間銀行 など

实践例

アメリカ ポートランド

発端

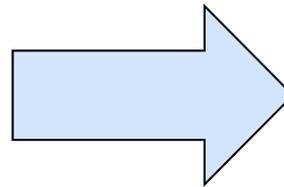
- ・ 1960年代、重工業による環境汚染が深刻になり、その後、中心市街地が荒廃して犯罪が多発。それを変えようと住民が立ち上がり、1969年高速道路を撤去させ、中心の川沿い1.5キロに緑の公園を作る。
- ・ 無人地帯となっていた中心市街地の歴史的建造物にリノベーションを施し、地上階にはショップやレストラン、その上にオフィスや住宅を配置したミックスユーズで賑わいを実現

現在

- ・ 「全米で最も住んでみたい都市」として高い評価をうけるほか、「全米で最も環境に優しい都市」、「最も自転車で移動しやすいアメリカの大都市」や「全米で最もおいしいレストランが集まる都市」など、さまざまな視点からエコロジカルでクリエイティブな都市として注目される

注目ポイント

- ・ 地域住民の共生活動の場づくりと個人の参加ー「ネイバーフッド・アソシエーション」という自治体のような組織が存在、地域の課題について話し合い、住民同士で解決方法を探っている
- ・ 生活の質を重視することでサステナブルな都市へー徒歩圏内で生活に必要なものが全て揃う利便性を優先しつつ、自然豊かな環境や地域で採れた美味しい旬の食材による食事を楽しみ、近隣住民とのコミュニケーションをとりながら自分たちで理想の街を築いている



<https://www.youtube.com/watch?v=YII32czq2NA>

イギリス ブロムリー・バイ・ボウ

発端

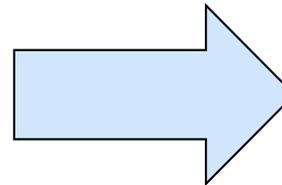
- ・ 1984年にアンドリュー・モーソンは牧師としてロンドン東部の公的助成も少ない、荒廃した地域の教会に赴任した
- ・ それから10年余り、彼は信徒の了解を得て、教会の施設を地域に開放した。週日は託児所や保育園として貸し出し、ダンススクールやカフェも運営する様になった

現在

- ・ かつては、50カ国から移民が集まり、失業率が30%を超え、犯罪・麻薬の取引、売春が行われている町が、診療所をつくり、住宅をつくり、保育所をつくり、また、公園を整備する、などにより立ち直った
- ・ オリンピックを契機にさらに発展

注目ポイント

- ・ 地域住民の共生活動の場づくりと個人のエンパワメント
- ・ 社会課題の解決に積極的にビジネスを活用
- ・ 地域の社会課題を大きくとらえ、解決のための事業スキームに企業、地方自治体、政府などさまざまな組織を巻き込みWinWin関係を作り、スケールアップ
- ・ ソーシャルキャピタル(人的資源、関係性、知縁等)を土地、金融資産と組み合わせてコミュニティ資源を最大限に活用



<http://www.youtube.com/watch?v=NMNTEryiamE>

イギリス トットネス トランジションタウン運動

発端

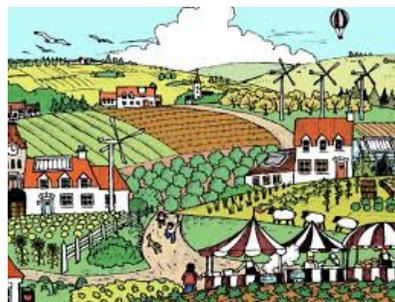
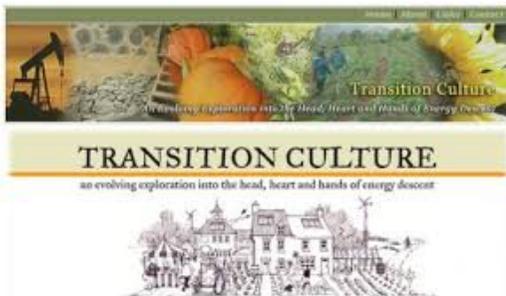
- 石油等の化石燃料に大きく依存する暮らしから、その使用を大きく減らした暮らしに、住民の創意と工夫で「楽しく」移行しようとする草の根活動「トランジション・ムーブメント」が、2006年始まった。
- 地域に目を向け、地域内の資源を最大限生かし、循環させる「リ・ローカリゼーション」を様々な活動で実現

現在

- 地域通貨、エネルギー、食と生産、住宅と建設、教育、コミュニティ・ソーシャルビジネス、芸術、交通、情報発信と、実にさまざまな分野のプロジェクトが同時進行中
- 住民は地元での起業を支援、地元の事業は地域内の経済循環を促進、トランジションを実現

注目ポイント

- トットネスのトランジション運動が、目指していることは、小さな活動が他の小さな活動と有機的につながることによって、面的に町内全体を覆っていくこと
- 行政や企業が大規模に行うトランジションではなく、住民主体のトランジションは、小さく、時間がかかるが、そのプロセスに多くの住民が楽しく参加することで、ライフスタイルそのものに確固とした変化をもたらすことを証明。この活動は、全世界1000地域超で実践されるまでになっている

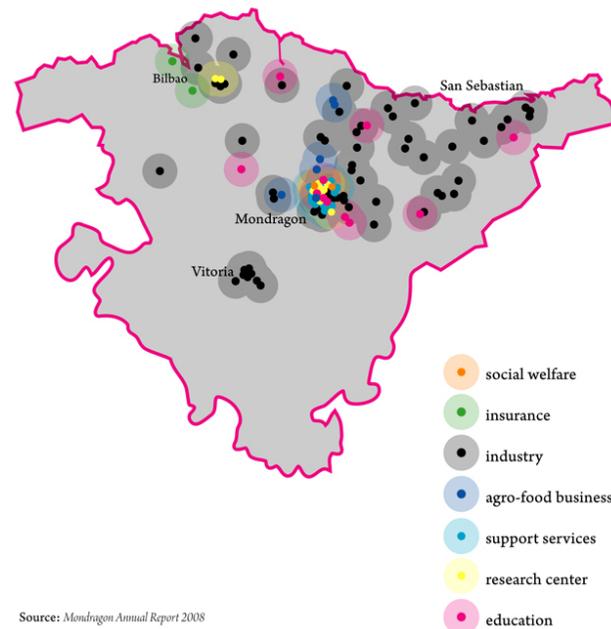


<https://www.youtube.com/watch?v=dbec9BaGw9M>

スペイン モンドラゴン



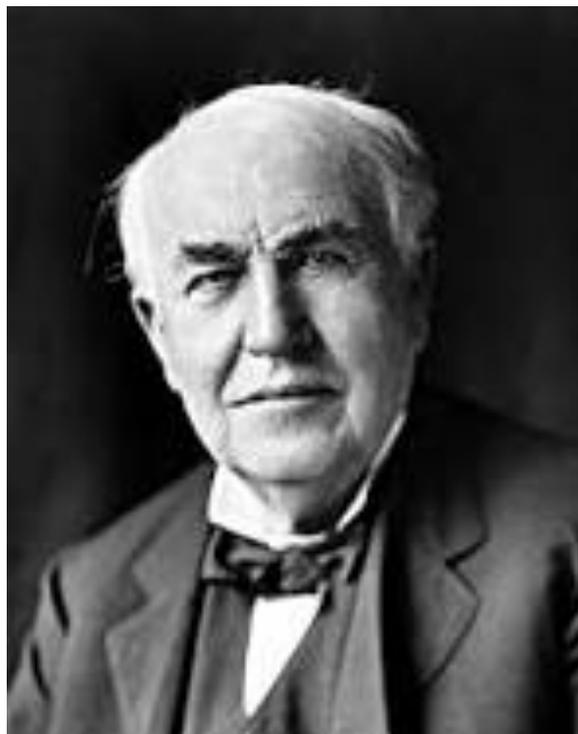
<http://www.youtube.com/watch?v=f3-lfn5f1ao>



Source: Mondragon Annual Report 2008

注目ポイント

- 労働者が出資、所有する協同組合で地域経営
- 協同組合は、傘下に多数の株式会社を抱え、本拠地のモンドラゴンの他5大陸に工場を持つ多国籍企業的活動を行っているが、組合員互選代議員による連合会議で経営方針を決定
- Humanity at Workという人中心の組織理念
- 協同組合間で再教育に基づく職場の配置転換などで安定雇用を確保。また、投資リスクも連帯により分散
- 利益の10%を基金とし教育等で地域社会に貢献、共生の理念を実践



**I have not failed. I' ve just found 10,000
ways that won' t work**

**(私は失敗したことがない。ただ、うまくい
かない一万通りの方法を発見したのだ。)**